

# 事務事業チェックシート

事務事業No **353** 事業名 **未熟児養育医療給付事業**

[事業基本情報]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	2	健康づくりの推進
基本方針	2	母子保健対策の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		母子衛生費	
	大事業		母子衛生事業	
事項		未熟児養育医療給付事業		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	永年	～	
事業実施の根拠法令	母子保健法		
関連個別計画	次世代育成支援行動計画	子ども・子育て支援事業計画	
担当課・担当課長 (Tel)	保健対策課	小浦保則 (488-5115)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

## 1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	<p>身体の発育が未熟なまま生まれた未熟児に対して、正常児が出生時に有する諸機能を得るようにするための入院治療費（保険診療医療費自己負担分）と入院時食事療養費を給付することで、児の健全な発達を支援する事業。</p>	<p>1 未熟児の保護者からの申請に基づき、給付の可否を決定し、医療券等を交付する。 2 入院している医療機関からの診療報酬の請求を審査し、給付を行う。</p>				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		入院養育を必要とする未熟児に対して、養育に必要な医療費の給付を行った。	入院養育を必要とする未熟児に対して、養育に必要な医療費の給付を行った。	入院養育を必要とする未熟児に対して、養育に必要な医療費の給付を行う。	入院養育を必要とする未熟児に対して、養育に必要な医療費の給付を行う。	入院養育を必要とする未熟児に対して、養育に必要な医療費の給付を行う。

## 2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	18,291	22,130	18,183	14,887	22,131		22,131		22,131	
伸び率 (%)	-	-	-0.6%		21.7%		0.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	2,167	2,148	2,148	1,848	2,148		2,148		2,148
	非常勤職員		0	0	0	0		0		0
	小計	2,167	2,148	2,148	1,848	2,148		2,148		2,148
国庫支出金	7,937	4,762	7,852	4,711	9,422		9,422		9,422	
県支出金	3,637	3,008	3,926	3,376	4,711		4,711		4,711	
市債	0	0	0		0		0		0	
その他	2,396	3,267	2,459	2,137	3,267		3,267		3,267	
一般財源(税等)	4,321	11,093	3,946	4,663	4,731		4,731		4,731	
所要人数	常勤職員	0.29	0.29	0.29	0.25	0.29		0.29		0.29
	非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0		0
主な予算内訳	医療扶助費 22,112千円									

## 3 目標及び実績

指標名及び達成状況					平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	新規給付申請受付件数	年度目標値							
		実績値			73	56			
	単位	件	全体目標値		全体目標達成度				
	年度別達成度	年度目標値							
		実績値							
成果指標	医療費の給付件数	年度目標値							
		実績値			173	162			
	単位	件	全体目標値		全体目標達成度				
	年度別達成度	年度目標値							
		実績値							
単位		全体目標値		全体目標達成度					

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	国の補助事業であり、現状の医療給付を継続する。
「見直し」 「改善」案	申請する保護者の負担を軽減するため、ホームページでの様式のダウンロードや郵送での書類の受付を行えるようにする。